

夏季特別セミナー

2025年7月27日(日)17～19時

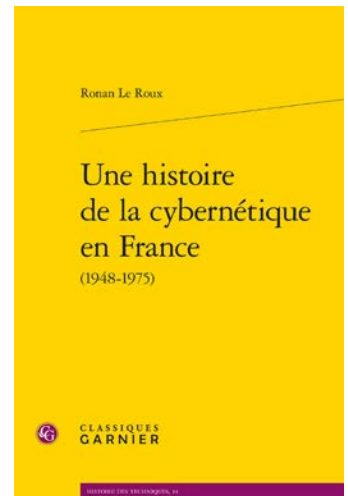
**会場：東京大学駒場キャンパス
(最寄駅：京王井の頭線・駒場東大前駅)
18号館4階コラボレーションルーム3**

「精神分析とサイバネティクス ：ラカン・マシンへの回帰 *Psychanalyse et cybernétique: retour sur les machines de Lacan*」

講師：ロナン・ルルー（Ronan Le Roux）先生

パリ大学東クレティユ校（Université Paris-Est Créteil）
情報コミュニケーション科学 准教授

セミナー趣旨：2005年よりフランスにおけるサイバネティクス史に関する博論の研究を始めた頃、私は、ラカンの初期の友人で数学者のG.T.ギルボーとJ.リゲと交流する機会を得た。彼らは、1950年代にフランスでのサイバネティクスの受容において重要な役割を果たした。以来、この主題は、精神分析、哲学、文化史など多分野で学際的な関心を集めている。今回の東京講演では、この問題系の主要ポイントを提示し、マシン（機械）というテーマが1950年代の構造主義時代から1970年代のポスト構造主義時代に至るラカンの教えを貫く導きの糸となっていることを指摘する。すなわち、象徴的秩序の回路から享楽の回路へと進むのである。



Le Roux 著
Classiques Garnier 社
(2018))

**参加費：無料（ハイブリッド形式。オンラインのアクセスは
下記QRコードから登録）**

使用言語：仏語（パワーポイント資料の日本語訳を配布）

**要事前参加登録（7/29日（火）夜も東京日仏学院にて開催予定）詳細は
下記にご連絡ください**

●共催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構国際
連携部門、伊敷の病院 & 哲学セミナー

●お問い合わせ：担当 阿部 e-mail：abepsy@yahoo.co.jp（#を@に変換）

